

1. 授業のねらい・概要

現代は情報化社会、最近ではネットワーク社会と称され、さらに情報を知識に変換して活動する知識社会とも言われている。

コンピュータの普及は歴史的に見れば、データ処理から情報処理へ、さらに情報通信技術 (ICT) の飛躍的な発展、インターネットを駆使したグローバルなネット企業、モバイルコンピュータや携帯電話などの多様化した活用形態は、企業、行政、社会、生活全般に変革をもたらしている。

本講義では、経営情報論の基礎を理解した上で、経営情報システムの形態や特徴、効果、および経営管理面での情報化の姿を学習する。

また、経営活動に対する情報通信技術 (ICT) が、いかにしてビジネスプロセスの変革をもたらすかという経営情報論の理論的枠組み、それに伴う新しいビジネス形態である「ネット・ビジネス」について学習する。

2. 授業の進め方

講義中心に進めるが理解を深めるために定期的に小テストを行う。

3. 授業計画

1. 情報社会と企業経営	9. インターネット・コンピューティング
2. 経営資源としての情報	10. 経営情報システムの設計と開発
3. 組織体と情報システム	11. 経営情報システムの管理
4. 経営情報論の意義	12. ネット・ビジネス 製造業
5. 経営組織論・経営戦略論	13. ネット・ビジネス 商店街
6. システムとネットワーク	14. サーチ・エコノミー
7. 経営情報システム	15. 情報通信技術と社会
8. 情報通信技術の進展	

4. 到達目標

社会における情報システムの活用について理解できるようになること。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

最新 IT を活用した経営情報システムについてインターネットや教科書で調べてみること。

6. 成績評価の方法・基準

受講態度、実習課題の成果物、期末試験を総合して評価する。

7. テキスト・参考文献

テキスト：小泉澄、野々山隆幸、『最新 IT を活用する経営情報論』、テン・ブックス、2014 年

8. 受講上の留意事項

経営活動を支える情報通信技術や、インターネットを活用したネット・ビジネスについては、身近に触れる機会が多いので、普段から関心をもって学習してほしい。